

東芝エレベータ(株)府中工場 サイトレポート情報

所在地	: 東京都府中市東芝町1番地
敷地面積	: 府中事業所内一部借用、建家面積: 27,552m ² 、緑化率17.0%
設立	: 2001年1月、従業員: 504人(2009年4月現在)
主要製品	: エレベーター
ISO14001認証取得	: 1998年8月、最新更新年月: 2007年8月 (ISO認証番号: EC98J1042)



サイトの紹介

東芝エレベータ府中工場は、多摩川の流れや国の天然記念物である馬場大門けやき並木、ムサシノキスゲが群生する浅間山など四季折々の装いをみせる府中市で事業を展開しています。工場ではエレベーターの開発・設計・製造をしています。環境保全活動にも全社員が一丸となって取り組み環境マネジメントシステムの継続的な改善及び環境負荷の低減、汚染の防止を推進しています。



2008年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

1998年8月に認証取得、2004年8月に2回目の更新審査、2007年7月に3回目の更新審査を受審

☆環境管理体制の充実

環境マネジメントシステムのレベルアップ・環境保全レベルの向上。

☆化学物質排出量の削減

化学物質の排出量の生産高原単位を、2007年度と比べて、5.3%削減。

☆CO2排出量の削減

CO2(エネルギー)の生産高原単位を、2007年度と比べて、5.1%削減。

☆産業廃棄物排出量の削減

廃棄物発生量の生産高原単位を、2007年度と比べて、4.9%削減

☆環境調和型製品の提供拡大推進

☆資材取引先に関する環境配慮

取引先に指導・支援(全8社)、廃棄物委託先現地確認(12件)

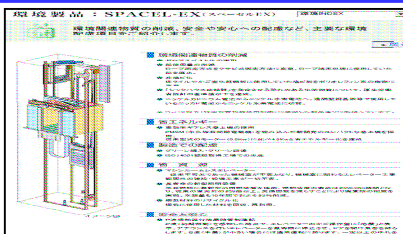
☆全員参加・啓発活動の展開

環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、(府)環境ニュース掲示等。

☆地域との協調・行政との交流・他事業所情報交換

地域への各種環境行事の参加(2件)、清掃ボランティア活動の参加等、ペットボトルキャップ回収400kg、府中市環境政策課としての交流会、(青)、(深谷)、(横浜)情報交換を開催。

製品、環境技術開発紹介



環境コミュニケーションの紹介

☆環境パンフレット(府中事業所発行ジュニア向け)にエレベーター製品掲載毎年発行

☆地域との交流(参加): 府中工場周辺清掃へ参加

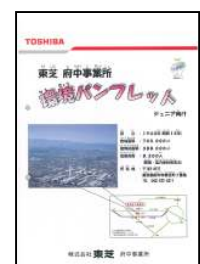
(主催): 府中工場環境標語募集、(府)環境ニュース協力会社へ掲示

☆自治体等主催行事参画: ①「我が家の環境大臣」エコファミリー環境家計簿参画173名

② 東京都公害防止管理者定期講習参加

③ 府中市環境政策課と交流会を開催

④ (青)、(深谷)、(横浜)環境担当と情報交換を開催。



環境パンフレット

環境方針

(府 昇) 環 境 基 本 方 針

東芝エレベータ株式会社は、東芝グループ環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、「緑の地球を自分たちで守ろう」をスローガンとして、「東芝エレベータグループ環境ビジョン2015」のもと、「東芝エレベータグループ環境ボランティアプラン」を策定し、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会をつくることを誠意を持って実行します。

東芝エレベータ(株)府中工場は、都心から20km圏の多摩の自然を色濃く残し歴史・文化・伝統を兼ね備えた東京都府中市に位置し、東京都及び府中市の行政方針に沿った環境活動を実施し、全従業員参加による省エネ活動・廃棄物削減を徹底し、環境負荷低減に配慮した『エコファクトリー』を目指し活動を推進してまいります。

◆環境経営の推進

1. 環境への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を東芝エレベータ(株)府中工場全社員が一丸となって推進します。
2. 昇降機の開発・設計・製造・据付・改修・リニューアルの活動が環境に与える影響を常に的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、更に定期的に見直しを行い東芝エレベータ(株)府中工場全社員が一丸となって環境活動に努め、環境マネジメントシステムの継続的な改善及び環境負荷の低減、汚染の防止を推進します。
3. 当社が行う事業活動・製品・サービスに関わる環境側面に関する法令、協定及び当社が同意した業界等の行動規範を遵守し、かつ当社の自主基準を制定し一層の環境活動に取り組みます。
4. 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
5. 環境に関する教育及び広報活動を実施し、東芝エレベータ(株)府中工場全社員に環境活動の理解と意識向上を図ります。

◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

1. 地球資源の有限性を認識し、製品及び事業プロセスの両面から環境調和型製品の開発・製造・販売及び採用、提供と環境調和型作業に努めます。
2. 製品のライフサイクルを通して、環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。(製品環境効率の向上)
 - ① 製品の環境効率向上
 - ② Excellent ECPの創出
 - ③ 特定化学物質の全廃
 - ④ エコプロダクツによるCO2削減
3. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などのすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。(事業プロセスの革新)
 - ① 生産設備等に使用する電力・都市ガス削減及び製品物流に伴うCO2排出量削減
 - ② 金属屑総排出量削減・調達品梱包木材排出削減による総発生量削減及び廃棄物ゼロエミッションの継続
 - ③ 使用実績報告による水受入量の削減
 - ④ 有機溶剤系から水溶性溶剤への代替による大気・水域への規制化学物質総排出量の削減

◆地球内企業として


1. 関係会社、ビジネスパートナー会社へ指導、支援を行い、理解と協力を求めるとともに地域・社会との協調連帯により環境活動を通じて社会に貢献します。
2. 相互理解の促進のために、利害関係者に対して環境情報の開示とコミュニケーションを積極的に行います。

この環境基本方針は、関係会社及びビジネスパートナー会社の社員を
含む全従業員に周知するとともに一般の人にも公表します

2009年4月1日

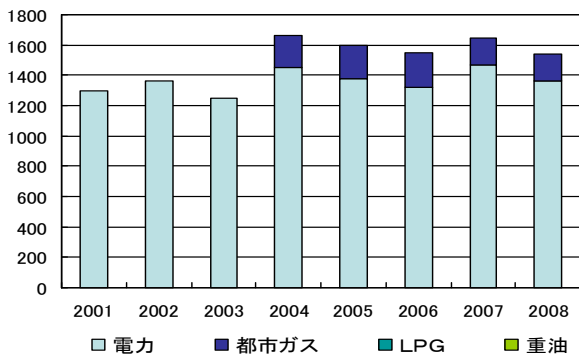
東芝エレベータ株式会社 府中工場

工場長

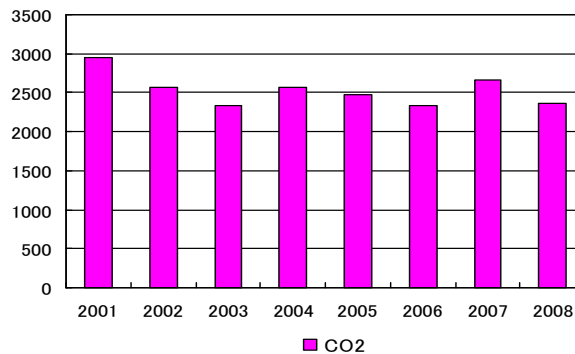


環境負荷データ

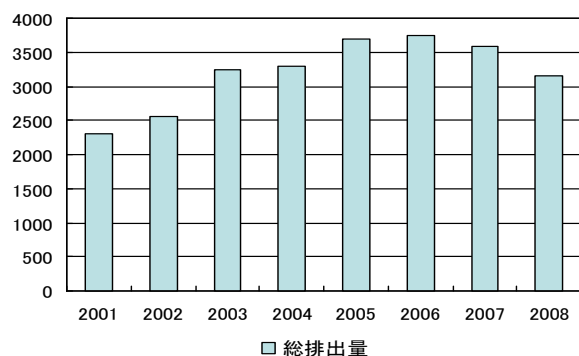
エネルギー使用量(単位:KL)



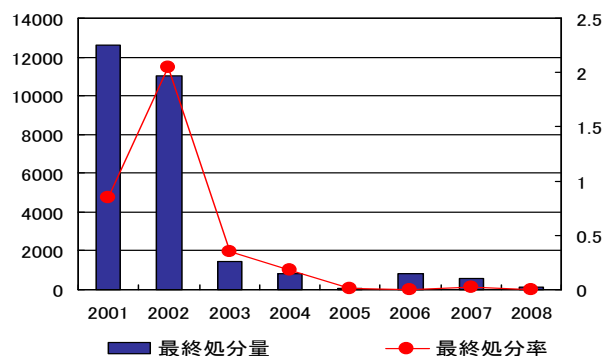
CO2排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

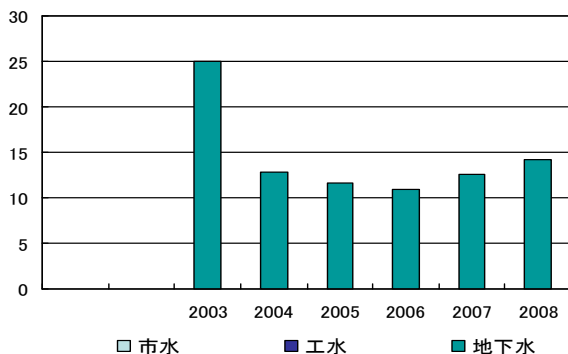


廃棄物最終処分量(単位:トン)と最終処分率(単位:%)

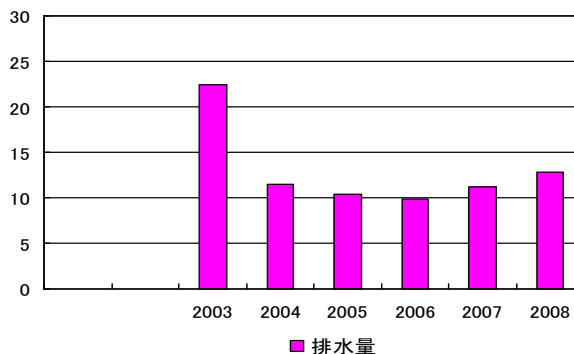


主な廃物名: 金属、プラスチック、油、木屑等

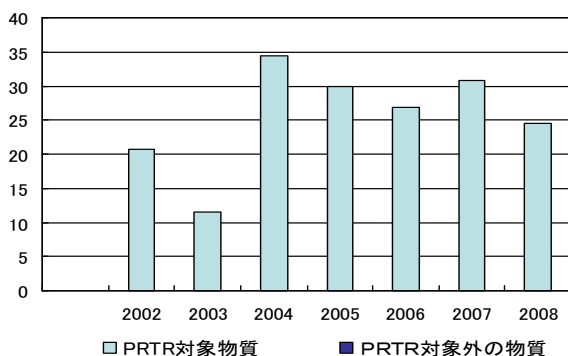
水の使用量(単位:千m³)



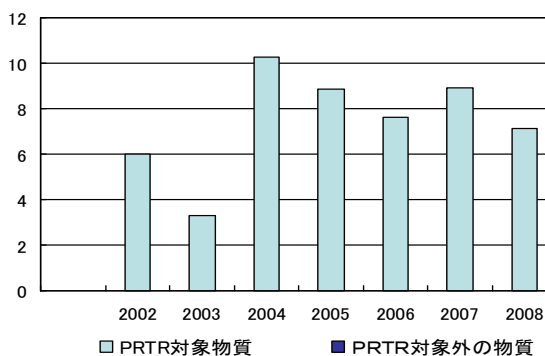
排水量(単位:千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移(トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移(トン)



主な化学物質: トルエン、キシレン

遵法管理状況

大気測定結果(ユニットヒーター(都市ガス使用) 4台)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	95	85	34	年1回
SOx(Nm3/h)	—	—	—	—
ばいじん(g/Nm3)	0.1	0.05	<0.001	年1回

排水測定結果(主な測定結果)(塗装研磨施設)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7(協定値)	6.0~8.5	8.0	月1回
BOD(mg/ℓ)	300未満	287未満	1.0	年1回
COD(mg/ℓ)	300未満	287未満	4.0	年1回
SS(mg/ℓ)	300未満	250未満	5.0	年1回
フッ素(mg/ℓ)	8以下	7以下	未検出	年1回

騒音・振動測定結果(測定場所:府中事業所敷地境界)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	60	57	44	年1回
	敷地境界:夜	55	52	41	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	60	30	2年1回
	敷地境界:夜	60	55	30	2年1回

その他測定結果(下水道法:府中事業所にて管理(TELC)対象施設なし)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし